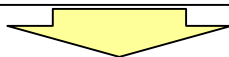


松本都市圏における観光に伴う交通渋滞の解消に資する 低公害バス輸送実証実験計画の概要 (平成14年7月～16年6月)

○背景

- ・日本でも有数の山岳観光地である上高地では、マイカーの流入規制を行っているが、観光バスの流入・長時間滞留により県道上高地公園線で頻繁に交通渋滞が発生し、自然環境への負荷も懸念されていた。
- ・乗鞍岳でも、乗鞍スカイライン(岐阜県)が、平成15年7月に無料開放されたことから、長野県側の県道乗鞍岳線の交通混雑に拍車がかかることが懸念された。



観光客を、マイカー、観光バスから低公害仕様路線バスへ転換することによる、交通渋滞の解消、自然環境への負荷軽減等の効果を検証、山岳観光地のモデルとなる輸送システムの確立を目指す。

〔事業主体〕 長野県、上高地自動車利用適正化連絡協議会、
乗鞍岳自動車利用適正化連絡協議会、松本電気鉄道株式会社

〔事業実施者〕 松本電気鉄道株式会社

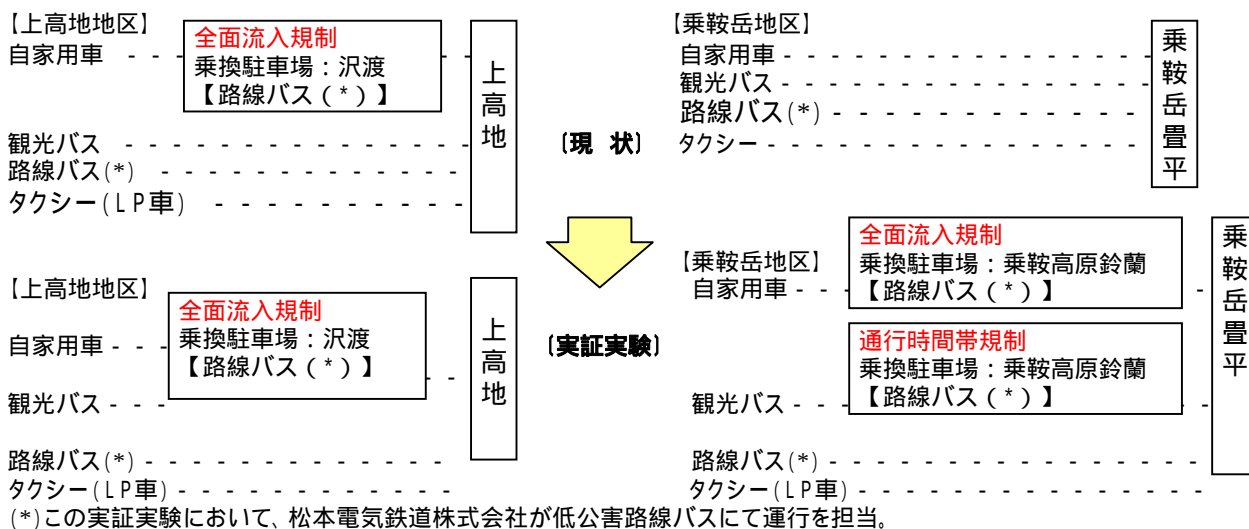
〔主な実験内容〕

○上高地地区

- ・観光バス流入規制の実施(平成15年～)
- ・低公害仕様路線バスの運行

○乗鞍岳地区

- ・マイカー流入規制の実施(平成15年～)
- ・観光バス通行時間帯の規制(平成15年～)
- ・低公害仕様路線バスの運行



実験の成果

上高地地区については、乗換駐車場のある沢渡からは522,196人輸送し、その内マイカーからの乗換による輸送は366,293人、観光バスからの乗換は155,903人であった。

乗鞍岳地区については、乗換駐車場のある乗鞍高原鈴蘭からマイカーからの乗換輸送は90,269人であった。なお、観光バスからの乗換については、通行規制の時間帯を避けた観光バスの運行により乗換はなかった。

実験後の状況

低公害路線バスへの乗換により自然環境負荷の軽減及び交通渋滞緩和に一定の効果が見られたことにより、松本電気鉄道(株)として17年度以降も事業実施を予定